

# 9月 つばめぐみだより

令和3年9月24日(金)

津田このみ学園

## 敬老の日～いつまでもげんきでいてね～

敬老の日のハガキのご協力ありがとうございました。レンコンやゴーヤ、ゴボウやスタチなど10種類以上の野菜を使って「おばあちゃん何の野菜かわかるかな」「喜んでくれるかな」など祖父母の方を思いながらハガキにスタンプを押しました。できあがったハガキは、自分たちで津田郵便局のポストまで入れに行きました。ポストの前に並び、自分の番がまわってくるのをワクワクして待つ子どもたち。5歳児は手際よく投函。4歳児は投函した後に「届きますように・・・」とポストに向かって手を合わせる姿が見られました。3歳児は一生懸命背伸びをして1枚ずつ入れようとしますが届かない子も・・・それに気づいた4、5歳児が抱きかかえ、お手伝いしてくれました。子どもたちの様子を見て郵便局の方が出てきてくださり、「13時ごろに回収しに来ますからね。しっかり届けますね。」と声をかけてくれました。コロナの影響で会う機会も減っているのではないのでしょうか。子どもたちの手作りハガキ、喜んでもらえるとうれしいです。



5歳児が調べた郵便局までの地図を見ながら目指します。



ケーキ屋さんの前を通るんだよ。



せーの！  
あともうちょっと！  
手を伸ばしてみてください～

## ニンジンの葉っぱに幼虫発見！

ニンジン収穫の朝、葉っぱに幼虫を発見！「アゲハチョウの幼虫や！」と絵本と見比べるAさん。育ててみるようになったのですが、まだこの時は大変なことになるとはだれも思いませんでした。その幼虫たちといったらニンジンの葉をあっという間に食べ、とうとうニンジンの葉っぱがなくなっていました。他に何を食べるのか調べたところ、ミカンの葉やパセリと図鑑に書いてあったのでミカンの木が近くにないか園長先生に尋ねることにした子どもたち。「井上さんの畑にあるよ」と地図を描いてもらい、5歳児がミカンの葉っぱをとってきてくれたのはいいのですが、次の日になっても食べません。よく調べるとアゲハチョウではなくキアゲハの幼虫だったこと、またミカンの葉っぱではなくパセリやセロリなどのセリ科の植物しか食べないということが判明。販売しているパセリなどは農薬がついていて幼虫が死んでしまうかもといった情報も・・・Bさんはおうちからニラの葉っぱを持ってきてくれましたがそれも食べず、イチかバチかでスーパーで買ってきたセロリの葉っぱを与えてみると、勢いよく食べてくれたので安心していただけるとその夜お腹を下して動かなくなっていました。(農薬おそろしい・・・)

子どもたちと話し合っ、飼育カゴに入れておくより自然に返してあげたほうがいい！ということになり、花がたくさん咲いている場所(蜜を吸いに来たお母さんに会えるかもしれないから)を選んで幼虫を返してあげました。幼虫は亡くなってしまいましたが、子どもたちは生き物の世話を通して命の大切さを感じられる機会となりました。

ミカンの葉っぱ食べないね。



げんきでね！  
お母さんに会える  
といいね。

